

## 第8回お宝をたずねる旅アンケートから

### <楽しかった理由>

- ・地元を改めて見直すことができたこと。
- ・知らなかったエピソードの発見があった。知らない人、久しぶりに会えた等、人との交わりがうれしい。(女性 芭露)
- ・大勢で仲間がいた。(男性 東芭露)
- ・50年もいて、知らないことばかりで、どこも良かったです。
- ・天気もよく、普段見のがしている事をくわしく話が聞けた。
- ・湧別町民であるのに、今まで何も知らない事に反省です。
- ・くわしくお話をうかがいながら実際に見ることができる。歴史を知ることができる。(女性 富美)
- ・皆さんの説明がわかりやすかったです。
- ・今回はお天気に恵まれ、草花が少しばかり見られた事、又、説明される方々の努力がすばらしかったです。
- ・町内に住んでいてもめずらしい事ばかりです。
- ・3ヶ所とも、とても良かったです。
- ・自然と協調し生かされている事に気付かされた事、素晴らしい環境を守る意識の大事さを再確認。
- ・ワッカの真水他、案内人の方々の説明がわかり易かったです。ありがとうございました。
- ・登栄床漁港の歴史を知れて楽しかったです。(女性 東町)
- ・登栄床地区に集約して見学でき良かったです。(女性 屯市)
- ・登栄床は父を思い出す場所でした。三里浜は家族で30数年前訪問した地です。

### <新しい発見の内容>

- ・漁港の変遷がわかったこと。湧別に原生花園があったこと。
- ・サギ沼が淡水湖であったこと。
- ・サロマ湖の地層。先人の苦勞。
- ・すべてが新しく知ったことばかりでした。湧別町が美しく雄大な自然に恵まれたお宝の町だということ♡(女性 富美)
- ・サロマ湖の中に小船が沢山泊まっているのは、何をしているのかと思っていたのが分かりました。
- ・環境問題。ヨシ・ムレ、野イチゴが見られなくなった。海へのゴミ(回収他)で身近で起きている。
- ・鷺沼の誕生の様子。貴重な場所を再発見、ドロ沼とアシ、泥炭。
- ・漁港の苦勞。漁港の素晴らしさ、協力を知りました。
- ・湖岸段丘。中に三角点(3.9m?)
- ・鷺沼の成り立ち。花の植生を知れたこと。美しい原生花園を楽しめました。(女性 東町)
- ・鷺沼原生花園。素晴らしいお宝でした。(女性 屯市)
- ・新発見がたくさんありました。
- ・まだ知りたがりないと思いました。私の年齢から倍生きられたら、もっと勉強したいです。(女性 60代)
- ・鷺沼原生花園が良かった。(男性 4の2)

### <たずねてみたいお宝>

- ・リサイクルの所。
- ・富美焼石や火山灰。

### <その他>

- ・多くの時間を費やし準備をしていただいた方、案内人の方々に感謝します。
- ・ありがとうございます。次回もぜひ参加してみたいです。(女性 富美)
- ・おすすめ人のお三方が準備万端で、よく理解できました。お天気もなんとかもって楽しい旅でした。感謝。(女性 東町)
- ・ゆっくり遊びに来たいと思います。

(ご協力、ありがとうございます。大切なご意見、今後に生かします)



第36号(2019年8月10日発行)

“第8回バスの旅の思い出号”

編集・発行

ふるさとから学ぶ会

代表・梅田

090-4922-5933

## 「知らないことばかりで どこも良かったです」



鷺沼原生花園



登栄床漁港

「お宝をたずねる旅」は、現地でお宝の魅力・価値を学びます。そのため、準備が進むにつれて、気になってくるのが“当日の天気”です。雨の中や強風の下では、まちな大切なお宝のことを、しっかり伝え、じっくり伺うことができないからです。

「天気もよく、普段見のがしている事をくわしく話が聞けた」

「第8回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅」が行われた6月22日(土)は、うすぐもりの穏やかな天気に恵まれ、充実した“旅”になりました。

「案内人の方々に感謝します」「皆さんの説明がわかりやすかった」「浜の歴史を知る事が出来て、大変良かった」「サギ沼原生花園、素晴らしいお宝でした」「竜宮台の呼び名」「漁港の素晴らしさ」「先人の苦勞」「今日の話のすべて、新しい発見があった」「次回もぜひ参加してみたいです」・・・参加された方から寄せられた声です。

お宝への深い知識と地域への愛情溢れる町元さん、嘉藤さん、絹張さんの分かりやすく豊かな内容の案内・説明で“発見と驚きがいっぱいの楽しい旅”になりました。お忙しい中、“おすすめ案内人”を引き受けてくださり、貴重な時間を割いて準備くださった町元さん、嘉藤さん、絹張さん、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。

ご好評いただいた今回の旅も、教育委員会の支えの下、「Y-u-P-A-L」、町水産林務課のご理解・ご支援があつて実施することができました。心からお礼申し上げます。

(梅田)

# へえ～、なるほど。そうなんだ！

—「たずねる旅」お宝、案内人の話・資料より—

## <登栄床漁港～案内人 町元直春さん>

- ① 昔は、漁港が小さいため、地先の海上で親船から小船に漁獲物を積み替える「瀬取り」により魚の荷揚げを行っていた。登栄床漁港の完成が、漁業を変えた。そして地域を変えた。今は、漁港整備により漁業が近代化され、サロマ湖は日本一のホタテの生産地へ。そして、日本のみならず、世界が認めるオホーツク海産ホタテ稚貝を生産する漁場となった。(資料より)



- ② サロマ湖・中番屋付近の湖にいつも出漁(碇泊)している数十隻の船、一体、何を捕っているの？ 町元さん～何も捕っていない。漁業組合員は、漁に合わせて2～3隻の船を持っているが、中番屋の埠頭に碇泊できるのは、一組合員一隻。埠頭に碇泊できない船を湖に置いている。強風等で何十mも流されることもある。

## <竜宮台～案内人 嘉藤晃男さん>

- ① オホーツク海と一条の砂丘で境するサロマ湖は、延々24キロ余におよぶ沿岸砂州を配して、豊かな景観を呈していたが、大正10年秋に来遊した大町桂月は、「天橋立」をほうふつさせる美観に魅せられて、砂丘の道路を「龍宮街道」と名付けて著書に残した。

・大町桂月は、北海道山水の外観の中で、北海道の八大景勝地として、大雪山、層雲峡、阿寒嶽、登別温泉、蝦夷富士、大沼公園、猿間湖、野付半島をあげている。(資料より)

- ② 湧別・竜宮伝説～「助けた亀は2匹いた」

「竜宮之碑」には、「…漁民に酒を振る舞われ、海中に戻った…」と。

「登栄床のあゆみ」に収録されている「湖畔の村」(山口省吾著)では、「…前日の鯨飲振りを最後として、彼の魂は安らかに昇天した…」と記されている。

- ・真相を究明するために、登栄床の歴史に詳しい地元の岡嶋さんに案内人の嘉藤さんが伺ったところ、「実は、助けた亀は2匹いたと聞いている」という。～嘉藤さん～



## <鷺沼原生花園～案内人 絹張洋史さん>

- ① 「サギ沼」～サロマ湖が生んだお宝～ 三つの魅力

その1 花畑の魅力～原生花園(オホーツク海沿岸に11ヶ所+シブノツナイ+キザ沼)サギ沼に咲く花～ハマナス、ヒオウギアヤメ、エゾノシシウドなど58種  
案内人イチオシ～マイヅルソウ、サイハイラン、エゾカンゾウ

その2 湿地の魅力～ドロ沼とヨシは、水質の守護神

「ヨシ」には、①チッ素やリンを吸収し、富栄養化を防ぎ、②茎や泥にいる微生物が汚れを分解し、③水の流れを弱めて汚れを沈殿させる働きがあり、ヨシが堆積して泥炭(Peat)が出来る

その3 歴史の魅力～サロマ湖の生い立ちが「カギ」～「砂嘴」

砂嘴がなければ、ただの大きな湾だった。砂嘴の骨格は更新世の砂州堆積物。数千年単位での海水面の上昇や下降、川から供給された砂によって砂州が形成され湖になった。縄文時代の海面は、今より3～4m高かった。

- ② 降った雨が泥炭に溜まり、湖岸段丘のふちにしみ出てきたのが「サギ沼」で、常呂ワッカ(アイヌ語で真水の意味)と同じ、淡水(真水)と思われる。～絹張さん～



## まちのすばらしさを知り、郷愁の念に駆られる旅になりました

菅 済 (富美在住)

私は、夕張市で生まれ、父の転勤の都合で、小学校1年生の時から、後志管内の共和町、余市町で過ごしました。就職してからは、オホーツク管内で暮らしているため、めったにふるさとに帰ることができません。ふるさとの話題がニュースに取り上げられると、懐かしさが込み上げ行ってみたいなあという思いに駆られます。

今回、「第8回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅」に参加させていただきました。参加動機は3つあります。一つ目は代表の梅田さんのお人柄。あまりお会いしたことはないのですが、旅のチラシを届けに学校まで足を運んでいただき、熱心にそして自信をもって旅の説明をされる様子に心を惹かれました。二つ目は、旅の内容そのものです。サロマ湖の砂嘴は常呂側から行かれる限界の地点まで行ったことがありましたが、湧別側からは行ったことがなかったため、以前から一度行ってみたいと思っていました。その願いが今回叶い、とても嬉しかったです。三つ目は、竜宮台のおすすめ案内人が嘉藤前副町長さんだったことです。嘉藤さんとは私が転勤で湧別町での勤務が決まってから一度お会いしたいと思っていましたが、去年はそれが叶わずお会いしたい思いがずっと残っていました。直接面識はなかったのですが、私の兄と嘉藤さんの娘さんが同じ職場に勤めていたという不思議なご縁です。実際にお会いし話もできて、感無量です。

当日は、見るもの聞くものが新しいことばかり。登栄床漁港がこんなに大きかったとは思いませんでしたし、竜宮台の景観もすばらしい。竜宮街道の由来にまつわる伝説、できすぎていてとてもおもしろかったです。鷺沼原生花園が現存する歴史は、興味深い内容でした。もしかしたらここに世紀の大発見の可能性があるのかもしれないですね。なんだかワクワクしてきます。新しい発見にたくさんの刺激をいただきましたし、参加者や旅の雰囲気が温かくて心地よく参加することができました。

転勤族にとって、その町を知ることはとても大切なことで、町の歴史や現状を理解することは、手続き上の町民ではなく真の町民に近づけるような気がします。私のような境遇の皆様方に、ぜひツアーに参加されますことをお勧めいたします。そんなすばらしい経験に感謝の思いを綴っていますと、自分のふるさとにも行ってみたい思いがますます強くなってまいりました。今回のツアーに携われた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、ふるさとから学ぶ会の皆様、町民の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(菅さんは、富美小学校の校長先生です。会報への「ご寄稿」誠にありがとうございます。)

